

部会等運営委員会報告

木村 敦 (JAEA)

2025/3/12

1. 今年度の主な活動 (運営委員 16 名)

- 秋の大会における企画セッション
シグマ調査専門委員会[核データ部会共催]
「将来の核データ ～次世代 JENDL に向けて～」
- 春の年会における企画セッション
企画セッション (核データ部会[シグマ調査専門委員会共催])
「三体核力研究と核データ応用への期待」
- 核データ研究会
日程: 2024 年 11 月 14 日(木)～11 月 15 日(金)
開催場所: 熊取交流センター すまいるズ煉瓦館 (大阪府 熊取町)
参加者数 約 80 名
- 年会・大会[予定]
2025 年秋の大会 2025 年 9 月 10 日(水)～12 日(金)
北九州国際会議場、AIM
2026 年春の年会 2026 年 3 月 11 日(水)～13 日(金)
熊本城ホール・熊本市民会館
2026 年秋の大会 2026 年 9 月 9 日(水)～11 日(金)
愛媛大学城北キャンパス
- 核データニュース発行 (No. 138-No. 140 3 件)
- ニュースレターの発行 (187-189 号 3 件)
- 部会賞 学術賞 1 件、奨励賞 1 件

2. 部会会員数

209 名 (2024/5/30) -7 名

参考:

前回集計: 216 名 (2023/5/29)

前々回集計: 215 名 (2022/6/1)

3. 部会等運営委員会での関連する主な議事内容

(第 2~3 回部会等運営委員会議事録より抜粋)

(1) 年会大会関連

・ 2025 年春の年会の状況報告

事務局より報告。発表件数は 292 件と対面開催時の半分以下であり非常に少ない。参加登録者数は今後も登録は継続するが現状 400 件以下。アンケートにてオンライン発表・聴講の希望はあったが、オンライン開催の参加規模の実状が示された。参加者が少ない場合、システム利用料の支払いに支障が出る可能性あり。

・ 参加料値上げ幅

コンベンション（以下、CV）を利用時の支出増（約 500 万円）を正会員の参加料値上げで補填した際の値上げ幅、物価上昇を加味して 5 年後に黒字確保となる値上げ幅をシミュレーション。これらと他学会の価格も参考に、正会員の値上げ幅は早期 5,000 円増（15,000 円）と、一定量の黒字収入が確保できる額に設定。学生会員・教育会員、シルバー会員は早期 1,000 円増（3,000 円）。非会員は、正会員の年会費（10,000 円）と参加料（15,000 円）を合わせた額よりも少し高い 27,000 円とし、学会への入会を促す。

学会本体の収益は参加料ではなく年会費でカバーすべきではとの意見が挙がった。これについては、今後それらのバランスについては検討の余地があり、年会・大会の収益の一部は支部に配分されていることも含め議論していく必要がある、年会・大会参加料は組織が支払い可能であることに対し、年会費は会員個人が支払っているため性質が異なるとの説明がなされた。

・ 値上げ時期の審議

2025 年秋の大会からの値上げ適用の提案が委員長よりなされ、承認された。今後、総務財務委員会、理事会に諮る。ただし手続きに時間を要した場合は春から適用する可能性あり。

(2) 部会・連絡会関連

・ 輸出管理のための規則作成に関する検討

輸出管理に関する議論が行われ、議論の結果、「定款細則に輸出規制を遵守する事を記載する」「ホームページに学会の活動にかかわる経産省の Q&A を掲載する」の 2 件の対応を実施することとなった。

その他の議論や詳細が知りたい場合は部会等運営委員の木村までご連絡ください。